

日 時：令和8年2月19日（木）10:30～11:45

場 所：大阪府立泉大津高等学校 DXルーム

出席者：湯峯委員、花見委員、續委員、植野委員、北林委員、大西委員
藤原校長、徳永教頭、寺本事務長、西村首席、村口首席

・議題

- ① 令和7年度学校経営計画の達成状況について
- ② 令和8年度学校経営計画について

<情報共有・意見交換内容>

（令和7年度学校経営計画の達成状況）

- ・総合的な探究の時間（授業の中）で地域の方へのスマホ教室を実施できたのが良かった。（委員）
- （スマホ教室の画像や参加者アンケート結果を共有しながら）地域の60～80代の方たちのご自身で泉大津市市民協働課へ申し込んで実際DXルームに足を運んでくださって、高校生と交流をしながら日頃のスマホ使用の悩みを解決できて喜んでくださっていた。（事務局）
- ・スマホ教室というのが高校生ならではの企画。地域のイベントでブース参加しても面白い。（委員）
- ・スマホの使い方が多様になってきており、いろいろな展開の仕方も考えられる。何回も企画して実施していくことが大事。（委員）
- ・子ども園から幼い子たちを招待して、簡単なプログラミング等の教室を開いても面白い。（委員）
- どこにどう目をつけるかによって、いろいろな企画ができそう。スマホの使い方の注意等をするような内容も良い。（事務局）
- ・普段の勉強とは違う、こういう場面で活躍できる生徒もいて、それが良い。（委員）
- ・探究の成果発表会では、生徒同士で学年をまたいでの発表があつてとても良かった。（委員）

（令和8年度学校経営計画について）

- ・職員の残業を減らす工夫をすることで、それが教員の余裕となって、その余裕が子どもたちに良い影響となって出ると良い。（委員）
- ・普段の先生方の退勤の様子、土日のクラブ付き添い状況はどうなっているか。（委員）
- どのクラブもルールに則って行っている。公式戦等で土日活動となっても、年間で活動日を調整したり、顧問間で分担したりしている。（事務局）
- ・教員のストレスチェックの結果が良いので安心した。（委員）
- 単に勤務時間だけの問題ではなく、同僚の助け合い、楽しい時間の共有がストレスチェックの結果に繋がったと考えられる。（事務局）
- ・4月から交通反則通告制度が導入されるが、登下校時の自転車運転のルール遵守についてどのように進めていくのか。（委員）
- 今年度の通学マナー指導で、泉大津警察と連携して、実際に4月から取り締まり対象となる行為があった場合は、その場で止めて声掛けをする等の試行を行った。（事務局）